

松戸市病院事業再編計画（案）住民説明会議事録②

日時：令和3年11月13日（土）14：00～15：30

場所：梨香台小学校体育館

出席者：高塚地区地域住民 80 人

健康福祉部 笹川部長、大淵審議監、石原地域医療課長

病院事業 白井管理局長、林病院政策課長、池田東松戸病院総務課長

1. 職員自己紹介
2. 挨拶
(略)
3. 松戸市病院事業再編計画（案）概要について説明
(略)
4. 質疑応答

地域医療課長

これより今までの説明内容についてご質問のある方や、ご確認をしたい方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。なお、大変申し訳ございませんが、感染対策として挙手された方は、職員がご案内しますので、席から移動して発言をお願いいたします。差し支えなければ町会名をお願いいたします。

質問者 A

耐震性は、この学校も何年か前にやりましたよね、全市、順次。そういう形でどうして改修を進めなかったのか疑問です。他の民間病院のことですけれども、看護師さんが、入院患者ご家族に、手がないから、おむつの交換は夜寝ていたらやらないという説明をしていました。人が足りませんのでできません。申し訳ありま

せんっていう事を待合室でそれを話していました。もう本当にその場でこの東松戸病院を案内したらよかったけど、まさかその病院の中ではできない、でもそういう状況なんですよ。市川から来ていました、って言うていましたね。本当にこの緩和ケアする病院はどれだけ大事なものだっていうのを分かってほしいと思います。どうして今まで修理も耐震もしてこなかったのか、先ほどのことも含めてですけども、どういう、これ今まで放っておいたという感じは私としては受け取ります。この写真を見ても、他の方が見せていただきましたけど、ここまで放つとくの？命を預かる病院ですよ。それを言いたいと思います。

東) 総務課長

耐震補強といいますと、こちらの体育館もそうですが、Vの字に耐震補強を行っているのをよく見たことがあると思います。これをもし病院でやるとすると、まず病院には一床あたり何㎡までを確保しなければいけないという決まりがございます。現在の医療法では6.4㎡、4人部屋が一般的に認められております。ただし、東松戸病院に関しては昭和40年に建てられたものなので6人部屋の4.3㎡で作られており、こちらの狭いものでも認められております。これを耐震補強工事するとその4㎡も取れなくなり、病床として運営できなくなるのでかなり難しい状況にあります。

病院政策課長

東松戸病院の耐震補強について、包帯工法は一応行いました。包帯工法は耐震の強度を上げるわけではなく、大きな地震が来た時に一気に崩れないようにして、避難の時間をできるだけ稼ぐようにするという目的の工法です。そして、今まで大きな修繕をやらなかったのかという件につきまして、今回示した設備は病院の基幹的設備で、修繕となると億を超える額になります。旧市立病院の建て替えの時に、この二つの病院の将来をどうするか長く検討いたしました。その中で東松戸病院の機能を現在の旧市立病院の跡地に持っていこうという検討案も一時示されました。その中で東松戸病院の将来がどうなるか決めあぐねていたために大きな設備投資になるような修繕はどうしてもできなかった、という事情がございます。そのため、こういった抜本的な修繕ができませんでしたが、それに対するバックアップ体制は行ってきたのでそこら辺はご理解いただきたく存じます。

質問者 B

資料の詳細を説明していただきたい。A3 資料の 3 番、地域医療の現状、周辺の医療機関、丸印で点が表記されているが、これはどういう基準の医療機関を指しているのか、クリニックなのか、入院機関も含めた医療機関を指しているのか。丸印の基準を教えてください。

地域医療課長

周辺の医療機関の状況につきましては、丸印のものは東松戸病院周辺約 2 km 圏内の部分の、例えば梨香台診療所やひがしまつど小児科、加賀谷正クリニックなど、診療科は色々ですが、医療機関とクリニックで、現在あるものが 29 施設でございます。これは松戸だけではなく、市川も含めた形のエリアで図示しております。

質問者 B

危惧されるのは、診療科目が点在をしているのではないかと、ということが感じられます。満遍なくマークされているとは思えません。

地域医療課長

東松戸病院と同一の診療科目の 9 科目、内科とか外科とか整形やリハ等、と東松戸病院と重複しない診療科目 20 科目、小児科、アレルギー科、皮膚科とかを図示している状況です。

質問者 B

二点目として、東松戸病院はかなり古い病院なので、解体は時間の問題とも思っています。現在、東松戸病院では 1 日 100 人からの外来の患者さんが来院していますが、その方々は既にある民間の医療機関を受診することは本当にできるのでしょうか。また民間の医療機関を誘致するという話もあったが、具体的には跡地にできるのか、それとも全く別のところにできるのか。そして構想としてある程度、目処が立っているのか、どうなのでしょう。

地域医療課長

現段階では案の段階でございますが、跡地を含めた形で、現在の東松戸病院の担っている機能の回復期以降の病院について、民間の医療機関で考えております。

正式な決定がされれば、県と関係機関に情報提供等をさせていただきたい、と考えています。

質問者 B

入院施設、リハビリ施設ということですね。

地域医療課長

そのような形で考えております。

質問者 C

長年こちらに住んでいて、そちらの病院にもお世話になっています。現在も親が複数の科にお世話になっております。今後もしばらくお世話になる予定ですが、若い方なら近隣の新しい病院に通院することも可能と思いますが、通院が大変困難な状況ですので、急に東松戸病院がなくなった場合に同じ地区で引き続き同じ治療を受けられるのか大変危惧しております。この地に長く住んでいて、大変長い間松戸市に税金を納めております。端の方にいますので、ないがしろにされている気がして悲しい気持ちでいっぱいです。もう少し、こちらの住民たちのことも考えて、また長く暮らしていけるように考えていただけないでしょうか。

部長

施設の老朽化や設備の劣化等によりまして、今後も継続的に医療を提供することは非常に厳しいという状況でございます。仮に現地で立て替えをすることを考えますと、建て替え期間が3年から5年間になり、その間は医療提供が止まってしまうこととなります。また土地が広いので、一部に新棟の建設も検討しましたが、入院患者がいる中で、かなり振動や騒音が発生するので現実的ではないと判断いたしました。仮に、現地建て替えをする場合、3年なり5年の工事期間中は、他の医療機関を利用していただくこととなります。仮に周辺に適当な土地があり、民間医療機関をうまく誘致できるということになれば、比較的その医療空白期間が短い間に、誘致できるということもございまして、今、この件について千葉県と協議を続けている状況でございます。

質問者 D

午前も参加させていただきました。今、市長さんはいらっしゃるんですか。いないんですか。午前も午後も市長さんは参加されないで、午前中も 200 人近くの方が参加されているんです。午後もそれくらいの人数の方が参加されているのに、こんな大事なことなのに、なんで来てくれないのかなって、思います。

眼科で、視野検査の機械が今ないんです。ないから他の病院を探して、やっってもらってということなんですけれども、自動車教習所とかに行っても、そういう視野検査の機械はあるんです。先生たちが言っても、今お金がないから買えません、って言い方をされているんです。先生たちは本当に一生懸命やってくれているんですけれども、なかなかお金を出してもらえないという現状があります。私も 18 年間東松戸病院にお世話になって、高血圧と高脂血症ということで、3 カ月に 1 回お薬をもらって、すごくありがたいと思っているんですけど、これからどんどん年を取っていくと、例えば物忘れ、物忘れ科っていうのがあるみたいなんですけど、まだ 1 回も利用したことはないですが、これから、高齢化が進んでいくにつれて、そういう患者さんも増えると思うし、医療センターで治療してもらって戻ってくる患者さんも増えると思うので、いままであった病院がなくなるということは心配なんです。これから、70、80、90 になっていくと、この病院を利用する人が増えていく。増えていくのに病院を絶対なくしてもらいたくないです。建物が古いから壊そう、売っちゃおうっていうのではなく、土地は広いのだから、今ある建物はそのまま、新しい病床を作るっていうことを考えてやっていただければありがたいと思います。

質問者 E

廃止する理由の一つが経営状況の悪化とありますが、平成 30 年からわずか 1 年で 1 億 5000 万円の収支の改善がみられます。単純計算すると 3 年でトントンになる。非常に効率的な経営改善が出来ていると思われるので、廃止する理由にはならないのではないのでしょうか。コロナで悪化しているのは当たり前であって、説得力がないのではないかと思います。民間の病院は経営状況が悪化していくと存続することはできませんが、その状況でも運営できるのが市の病院なのではないのでしょうか。コロナになって、病院に入れず死んでいく人がたくさんいる。コロナが

今後何年続くかわからない。病院に入れず今後も亡くなる方が出てくるかもしれない。そういう中で病院を閉めるということは、我々が公的病院に求めていることではありません。院長が頑張っていて経営改善をする、っていうことは求めている。マーケティングの機能というのは病院には持っていないと思うので、そういうことは市が頑張っていて、他の病院から患者さんを引っ張ってくれば、簡単に患者数は増やせます。なんで患者さんが減っているかという、あえて投資をしないで、機器とかを購入しないで患者数を絞っているからです。患者の数が減っているというのは、それを目標としてやっているからで、その結果なのです。病院を閉めたいから機器を買わないで、患者の数を減らしているということが明確です。また、6号館の耐震性が不足していることはわかるのですが、印象に訴えているだけです。腐っていると、ひび割れているとか、壊れているとか、計量的な説明になっていない。6号館の耐震性が悪いのであれば、シミュレーションした結果などを載せて説明するべきではないのか。いろいろな要素を計算して見せないと、全然意味がない。3番の地域医療の説明も全然意味がない。結局、大きい病院がこの辺にできたっていうことは聞いたことがない。小さなクリニックができて意味がない。印象操作みたいな資料になっていて、説得力がないですね、見る人を見ると。ちゃんとしたシミュレーションとかをして、印象的な説明会にならないようにした方がいいと思います。

東) 総務課長

東松戸病院において、意図的に患者さんを絞っていくというようなことはありません。機器の話がありましたが、眼科の先生がなかなか見つからず2年ほど前に非常勤医師として半日来ていただけるときに高額な機器を導入しました。物忘れ外来の件でも、2名の脳神経内科医がいましたが1名は離職し、1名は亡くなったため今現在では物忘れ外来はやっていません。しかしながら、東松戸病院は高齢者の患者さんが多いので該当する科の医師の募集は常に行っているが集まらない状況です。そのような状況なので、事務の方で意図的に診療科を抑えて案内するということはない。事務局としても、診療科を広げていくために、今後も募集を継続して繋げていきたいと思っています。

質問者 F

医師の募集をかけても来ないという発言ですが、今聞こえてくるのは、例えば、整形外科の先生がいなくなるみたいだとか、あれがダメ、これがダメという話ばかり。募集かけても来ない、眼科の先生が来ないことについて、それなりの理由はわかっているはずですよ。来ない原因は掴んでいますか。つぶれるつぶれるっていう病院に誰が来ますか。看護師さんなんかもそうだと思いますよ。将来希望があるところなら行ってみようと思うが、巷に閉鎖するっていう噂があるところに誰が来ますか。それが言いたいです。

質問者 G

私は、北海道から 20 年位前にこちらに来て、東松戸病院にかかって 18 年になります。看護師さんたちや医師たちもすごくいい人たちばかりなので、こんなに良くしてもらったことはないというくらいいい病院です。廃止になるのはとても残念に思います。何年か前に院長先生に総合病院にしてほしいと、お手紙を書きましたが、大きな病院に建て直すには費用が莫大にかかると思います。近くに電車が止まるとか、バスでどこからでも来られるというのならいいですが、この小さな町だけで大きな病院を立て直すのは大変だと思います。私が越してきた時には、このあたりはまだ畑が多かったのですが、今ではすごく増えました。若いお母さんが増えて、小さい子供もたくさんいます。ですから、この病院がもう少しよくなったらいいなといつも思っていました。廃止にするという考えも、それは困るとも言い切れません。病院も大変だと思いますので。大変お世話になりました。ただ、もしできるのであれば小さな診療所でもいいので、また建ててほしいと思います。

質問者 H

あの辺は、幸せ村構想ということで、エデンや東松戸病院、老人ホームができて、環境が良いところです。東松戸病院でボランティアを長いことやっていて、お年寄りの方たちが楽しいことをやれるような場所です。あの病院の広さなら、場所を移しながら建て替えていくことができると思います。建て替えの時に音がうるさいとかはどこでもいっしょだと思います。今後さらに高齢化が進んでいくにつれて、東部地区の東松戸病院は高齢者を抱えていく大切な病院です。入

院病棟も大変で、古いのはわかります。これからリハビリが必要という方たちには、東松戸病院をきれいにして、そちらの方でリハビリをして、そういうことを考えながら、松戸市の方は税金を使ってほしいと思います。この辺の東部地区には、大きな病院がなく、上本郷の総合医療センターまで通うのはとても大変です。緑も多くいい環境なので、もう一度よく考えて、これからの高齢者を支える病院として残して行ってほしいと思います。

質問者 I

病院の話については、賛成しているわけではないですが、しょうがないかなと思います。東松戸病院がなくなってしまうと、病気を抱えている方は千葉西病院や新東京病院に通わなければならなくなると思います。その際に、私が苦慮していることは、この辺は陸の孤島と呼ばれているくらい交通機関が少ないです。現在は東松戸病院を起点に松戸駅まで運行しており、京成バスから新京成バスに移管した際に減便されており、現状本数はかなり少ない。新京成バスの方に伺ったところ、赤字路線とのこと。病院がなくなったら廃止の可能性もあると噂ですが、聞こえています。そうなった場合、このあたりの人は松戸駅まで行く手段もない。周辺の医療機関の体制だけでなく、交通インフラについてもきちんと考えていただきたいと思います。もし、コミュニティバスを走らせるという計画があるのなら、令和5年度末までには、交通インフラをどうするかというところまで、市はきちんと計画していただきたいと思います。

審議監

新京成バスの件は、こちらでも京成から新京成になったときに減便になったという現状は把握しております。また新京成バスが廃止するという噂については、私も耳にしまして、新京成に問い合わせをしたところ、現段階で廃止するという検討はしていないという回答をいただいております。またこれから先については、交通インフラがなくなってしまったという場合には、新京成がそういうならしょうがない、というのではなく、当然のことながらしっかりと検討していきたいと考えております。

質問者 J

東松戸病院の増改築は考えてないという午前中の答弁だったが、先ほどは検討したけども3年から5年かかると答弁していた。建て替えには50億円かかり、そんなお金はないという話は聞いているが、上本郷の病院を建て替えるときに280億かかっている。それだけのお金があるのに、東松戸病院の建て替えはできないのですか。今、進めている市役所の建て替えは、駐車場1台当たり2千万円ですよ。40億かかるのに、建て替えの50億円がないというのはどういうことなのか。また、総合医療センターに東松戸病院の機能を移すということがよくわかった。あなたがたは東松戸病院を差別しているのではないか。診療科がなくなるとか、必要な機械を買わないとか。総合医療センターは急性期で儲かる医療をやっているから、市の持ち出しが28億円でも赤字ではないという。一方、東松戸病院は7億円赤字だという、その差は4倍あるんです。東松戸病院はもともと儲からないところを丁寧にやっているんです。赤字になるのは当たり前です。全国の公立病院を見ると、平均して9億円の赤字があります。7億円の赤字は、我々が税金を払っている見返りなんです。それなのに、東松戸病院を廃止するのは、差別であり、この地域を見捨てることになります。総合医療センターを優遇してきたことがよく分かった。住民の声を合わせようとうまく答弁しているが、矛盾だらけでおかしいです。

質問者 K

説明会を聞いていて、最初から廃止が前提にあったのではないか。現実には何もそれに対応しようって考えがないように感じています。ここで質問したことについて、その話をきちんと委員会か何かにかけて対応してくれるのでしょうか。

審議監

当然のことながら市民の方々の意見については、市長並びに職員に周知して検討するということと、市議会にもちゃんと報告をして検討していただくことになっております。

質問者 K

会場の職員たちはここに来て、私どもが質問したら、それをきちんと委員会などを通して検討する権限があるのですか。

審議監

権限というか、ご意見ないしはいただいたものは、こちらの方から報告をさせていただきます。

質問者 K

今日、書記はとっていますか。録音していますか。

審議監

はい、やっております。録音しております。

質問者 K

東松戸病院が赤字なのは、建物がうまく補強できないとかは病院に関係なく、病院の中身の話なのではないですか。患者さんは先生方がよくて医療設備がよければ絶対に来るはずなので、赤字になるわけがない。それがちゃんとできないならこういう問題が出てきています。病院にきちんとした先生がいれば、病院の運営は簡単にできるはずです。なので、市もきちんと考えて、病院にきちんと対応できる先生を呼んでくれば、病院の運営なんか簡単にできるはずです。赤字なんて出るわけがないのです。だから、施設がどうのこうのっていう問題じゃないはずなので、その辺は皆さん考えていただきたい。

質問者 L

東松戸病院の近くに住んで 50 年になります。救急で運ばれて命を助けてもらったこともあり、東松戸病院にはお世話になっています。20 年近くボランティアの会に入って協力させていただいています。この病院閉鎖の反対の運動は 3 回目です。東松戸病院・梨香苑廃止反対の会を設立して、川井市長のときも起こり、その時は市長さんが地元で足を運んで意見を聞いて撤回してくれました。その時からずっと活動しています。今回、私たちが行っている署名が 1014 集まって市長さんに届けています。松戸市内全体からたくさん署名が集まっています。署名には今日

ここに来ることのできないお年寄りもたくさんいます。これから団塊の世代の人たちが年を取って、東松戸病院のありがたさが身に染みてきます。この病院をなくさないで頑張っていくということが、私たちの責任だと思っています。東松戸病院は長い歴史があります。職員の皆さんは自治会のイベントがあれば、日曜日でも来ていただいて、健康指導をしてくれます。市長は知っているのですか。またコロナウィルスの第6波が来るのではないかとされている中で、公立病院を廃止にするべきではないです。こういう時期に公立病院を廃止にするのは考えられません。東松戸病院を維持するのに市の財政が緊迫していると言っている一方で、市の財政は健全だということを市長は繰り返し言っています。市長のやりたいところには平然とお金を出して、公立病院にはお金を出さない。これは絶対に許せません。この病院閉鎖の問題は、市長が東部地域を見捨てるようなもの、東部地域を大事にしていない証拠です。絶対なくさないために、これからも署名を集めていきます。そうでなければ、この大事な説明会になぜ市長が来ていないのか。市長は今日何をしているのか。説明会に参加して市長の口から直接説明を聞きたい、ということを申し伝えてください。

地域医療課長

本日は貴重なご意見と承り、本当にありがとうございます。以上もちまして説明会を閉会させていただきます。